慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	故大熊一郎教授著作目録
Sub Title	A bibliography of the writings of the late Prof . Ichiro Okuma
Author	長名, 寛明
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1988
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.80, No.6 (1988. 2) ,p.726(180)- 731(185)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	大熊一郎教授追悼特集号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19880201-0180

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

故大熊一郎教授著作目録

1948年（昭和23年）

「ケインズ以後の世界の経済学」　経済新誌　3巻10号　12月

1949年（昭和24年）

「いわゆる巨視的，微視的についてのおぼえがき」　季刊経済思潮　11集　7月

1950年（昭和25年）

「経済計画としての社会保障」　月刊社会保障　4巻10号　10月

1951年（昭和26年）

「シャウプの国民所得論における政府部門の評価」　三田学会雑誌　44巻6号　6月

〔書評〕カールS．シャウプ著　永田清・高橋長太郎訳『国民所得分析の原理』　季刊理論経済学　2巻3号　7月

1952年（昭和27年）

〔書評〕シェリング著『国民所得解析』　三田学会雑誌　45巻3号　3月

「賃金所得と実質賃金」　季刊理論経済学　3巻2号　4月

「消費性向と貯蓄率―デューゼンベリー『所得貯蓄及び消費性向』について」　社会保障研究　2巻1号　6月

1953年（昭和28年）

「社会保障制度と財政政策―イギリスにおける経験（上）」　社会保険時報　27巻2，3号　3月

「社会保障と財政政策（下）」　社会保険時報　27巻4，5号　5月

「イギリスの社会保障―特にその財政政策―」　都市問題　44巻6号　6月

「社会保障と完全雇用―ベヴァリッジとケインズにみる―」　資料福利厚生　12月20日

1954年（昭和29年）

「イギリス開業医の報酬」　国民健康保険情報　9月15日

「投入―産出模型について」（共著者：千種義人）　三田学会雑誌　47巻11号　11月

「書評」J．ロビンソン著『マルクス再読』　三田学会雑誌　47巻11号　11月

1955年（昭和30年）

〔訳書〕J．S．デューゼンベリー著『所得・貯蓄・消費者行為の理論』　厳松堂出版

〔書評〕J．ロビンソン『利子率その他研究』　経済評論　4巻7号　7月

「老後はどうなるか？―老齢年金あれこれ―」　厚生の指標　9月

1956年（昭和31年）

「デュウゼンベリの投資理論」　三田学会雑誌　49巻3号　3月

「医療費の趨勢―今後どう変るか」　月刊社会保障　10巻4号　4月

「産業連関表と社会勘定」　三田学会雑誌　49巻5号　5月

「老齢保障―今後の問題―」　共済時報　11月

1957年（昭和32年）

「財政投資の経済効果―財政投資と必要成長率との関連―」　アナリスト　3巻3号　3月

「成長モデルにおける財政政策の扱い方について」　三田学会雑誌　50巻7号　7月

「社会保障夏の陣に望む―来年度予算編成を中心に―」　月刊社会保障　11巻7号　7月

「オランダの長期計画モデルの構成について」　経済研究（一橋大学）　8巻4号　10月

1958年（昭和33年）

「償却制度に関する専門報告」　産業計画会議　償却制度委員会　3月31日

「昭和三三年度予算案に寄せて」　中央経済　7巻4号　4月

「成長理論と分配―カルドア・モデルに関する若干の論評―」　三田学会雑誌　51巻10号　10月

1959年（昭和34年）

「白書におけるものの考え方―われわれはこうみる―」（座談会）　経済セミナー　34号　9月

「投資と消費の変動――つのモデル・アナリシス―」　高橋長太郎編『景気変動』　日本経済の分析8　春秋社

1960年（昭和35年）

「福祉計画と経済計画」　社会保障研究資料（15）　統計研究会　1月

「社会保障制度への反省」　月刊社会保障　14巻157号　1月

「耐用年数について―ひとつの経済学的見解―」　産業経理　20巻2号　2月

「設備規模と市場競争―過剰能力の展開―」　三田学会雑誌　53巻10，11合併号　10，11月

「経済成長と社会保障」　丸山博他編『日本経済と社会保障』　講座・社会保障　第2巻　至誠堂

1961年（昭和36年）

「国民所得の分配理論」　篠原三代平・林栄夫・宮崎義一編『国民所得の理論』第7章　近代経済学講座2　有斐閣

〔書評〕大川一司編『国民所得』　季刊理論経済学　11巻3，4号　3月

〔書評〕M．A．マスグレイブ著『財政理論』　三田学会雑誌　54巻7号　7月

〔書評〕「循環のあらゆる要素盛る」　マシューズ著　海老沢道進訳『景気循環』　週刊東洋経済　3007号　7月8日

「経済学における会計的手法の利用―社会会計学をめぐって―」　企業会計　13巻12号　10月

「設備規模と市場競争―産業需要増大と潜在的価格競争についてのノオト―」　三田学会雑誌　54巻12号　12月

〔書評〕篠原三代平著『日本経済の成長と循環』　経済評論　10巻13号　12月

1962年（昭和37年）

「二つの立場からみた景気基調―このあと始末をどうする―」（座談会）　エコノミスト　40巻1号　1961年12月26日，1962年1月2日合併号

〔書評〕「エッセイ風の経済学入門書」　宮沢健一著『巨視経済学』　週刊東洋経済　3083号　11月3日

「経済安定と財政政策のあり方―38年度予算編成によせて―」　エコノミスト　40巻48号　11月27日

1963年（昭和38年）

『フィスカル・ポリシーの理論構造』　日本評論新社

「近代経済学のまなび方」　経済セミナー　81号　4月

「社会保障と経済学」　日本労働協会雑誌　5巻51号　6月

「経済学の立場から―法律学に与える―」　綜合法学　6巻7号　7月

「開放体系へ移行する日本経済」（シンポジウム）　経済セミナー　86号　8月

「公共投資はいかにあるべきか」　東京商工会議所調査部編『経済成長と経済政策』　第3章　東京商工会議所　9月

1964年（昭和39年）

「国家への道―その反省と出発―」（座談会）　週間社会保障　18巻236号　1月6日

『経済原論』（共著者：千種義人，福岡正夫，富田重夫）　世界書院
『経済学と消費者行動—自由経済理論における消費者主権—」　サンケイ・アド・マンスリー　7月
「公共料金は押えられないか—再燃する値上げ攻勢をめぐって—」（座談会）　エコノミスト　42巻39号　9月22日
〔編書〕『財政読本』　東洋経済新報社
「池田経済政策をどう評価するか」（座談会）　経済セミナー　102号　12月
1965年（昭和40年）
「近代経済学と成長理論」　経済セミナー　106号　4月1日
「社会保障の経済学」　季刊社会保障研究　1巻1号　6月
「経済政策としての財政政策の原則—不況対策には当然，赤字公債—」　ビジネス　9月
『財政政策』（共著者：高木寿一，古田精司）　世界書院
〔書評〕大野吉輝著『巨視的分配理論』　季刊理論経済学　16巻1号　11月
「フィスカル・ポリシーの30年」　週刊東洋経済　3259号　12月2日
1966年（昭和41年）
「不況と社会保障」　健康保険　20巻1号　1月
「財政政策への提言」　財政詳報　625号　1月3日
〔訳書〕ダンバーグ・マクドガル著『マクロ経済学』（共訳者：宇田川璋仁）　好学社
「日本の医療保障問題」　共済新報　7巻4号　4月
〔書評〕「経済学に潜む形而上学の追放」　J．ロビンソン著　宮崎義一訳『経済学の考え方』　週刊東洋経済　1177号　6月25日
「昭和41年度経済白書批判—財政政策を評価する—」　研究月報　8号　日本経済研究協会　8月28日
「『公債の負担』について」　金融ジャーナル　7巻11号　11月
「社会保障の給付形態（特に社会保険的給付の経済的意義）」　『社会開発の財政問題』　第5章　産業計画会議　12月
〔書評〕木下和夫編『地方自治の財政理論』　季刊理論経済学　17巻2号　12月
『国民所得論』（共著者：浜田文雅）　日本評論社
1967年（昭和42年）
「社会保障政策はいかにあるべきか」（シンポジウム）　日本経済研究センター会報　47号　1月1日
「財政の弾力的運用について」　アナリスト　13巻1号　1月
「国債発行の縮小を—予算政府案を読んで—」　信濃毎日新聞　3月1日
「財政原則と経済の安定・成長—昭和30年代の回顧—」　宇田川璋仁・藤野正三郎編『経済成長と財政金融政策』第1章　勁草書房
1968年（昭和43年）
「苦悩する英国経済の体質」　経済セミナー　144号　3月
「日本のポリシー・ミックス」　経済セミナー　149号　7月
「重要問題ひめた白書」　朝日新聞7月16日
「社会保障への経済学的接近」　週刊社会保障　22巻481号　9月30日
「社会問題への経済学的接近」　世界経済　23巻10号　10月
「総合予算主義をレビューする」（シンポジウム）　日本経済研究センター会報　91号　11月1日
「経済成長と社会保障」　朝日新聞11月5日

1969年（昭和44年）

「医療保険抜本改正の方向―老人医療・分娩・鈴木試案の問題点を探る―」（座談会）　週刊社会保障　23巻495号　1月6日

「ビジョンのない財政審報告」（座談会）　社会保険実務と法令　7巻2号　2月

「国民経済における財政の表示方法について」　財経詳報　817号　9月29日

「新予算案をめぐる三つの論点」　週刊東洋経済　3452号　1月25日

「経済成長と社会保障」　社会保障年鑑

1970年（昭和45年）

「社会資本充実への道」（シンポジウム）　日本経済研究センター会報　129号　6月1日

「経済座談会，受益と負担―税制改革の課題―」（座談会）　ＮＨＫ報道局政経番組部（ＮＨＫ総合テレビ，第1ラジオ）　6月14日

〔訳書〕Ｖ．タンツィ著『経済成長と所得税』　東洋経済新報社

〔編書〕『理論経済学講義』（共編者：伊達邦春）　青林書院新社

〔編書〕『財政学1：財政の理論』（共編者：木下和夫，肥後和夫）　有斐閣

〔編書〕『財政学2：日本の財政』（共編者：木下和夫，肥後和夫）　有斐閣

〔編書〕『財政学3：日本の地方財政』（共編者：木下和夫，肥後和夫）　有斐閣

1971年（昭和46年）

「開銀20年目の曲り角」　国際グラフ　4月

1973年（昭和48年）

「財政」　国際大百科事典8　ＴＢＳブリタニカ

1974年（昭和49年）

「福祉と効率」　日本経済研究センター会報　217号　2月1日

〔書評〕林健久・貝塚啓明編『日本の財政』　経済学論集（東京大学）　40巻3号　10月

〔訳書〕ダンバーグ・マクドガル著『マクロ経済学』（共訳者：加藤恵）　好学社

1975年（昭和50年）

〔書評〕「日本的な教育の二重構造」　白数美輝雄著『岐路に立つ私立大学』　有倉遼吉・土橋寛編　『私立大学の危機』　朝日ジャーナル　17巻9号　3月7日

「財政硬直化をいかに打開すべきか―その原因と処方箋―」　金融財政事情　26巻19号　5月12日

「社会保障25年の歩みと今後の展望（上）」（座談会）　健康保険　29巻6号　6月

「社会保障25年の歩みと今後の展望（下）」（座談会）　健康保険　29巻7号　7月

「低成長の下での社会保障」　社会保障問題シンポジウム資料　社会保障研究所　7月22日

「社会保障をどう見直すか」　社会保険旬報　1155号　9月1日

「政策目標と政策手段」　経済セミナー　249号　10月

〔編書〕『現代の日本経済』（共編者：辻村江太郎）　日本経済新聞社

『財政論』（共著者：古田精司，大島通義，飯野靖四，深谷昌弘）　世界書院

1976年（昭和51年）

「医療保険をどうするか（上）」（対談）　社会保険旬報　1167号　1月1日

『道路と公債政策について』　首都道路協議会　1月1日

「医療保険をどうするか（下）」（対談）　社会保険旬報　1168号　1月11日

「五十一年度予算を斬る」（対談）　週刊民社　1月30日

「福祉と効率」（講演記録）　国民生活調査課　4月15日

1977年（昭和52年）

「社会保障における費用負担の社会経済的意義（コメント）」　季刊社会保障研究　12巻4号　3月

「社会保障の財政構造（社会保障研究会議事要旨）」　社会保障研究会　経済企画庁　2月15日

「長期財政乗数についての覚え書」　三田学会雑誌　70巻2号　4月

「多くを望めぬ財政支出の乗数効果」　日本経済新聞　経済教室　7月30日

〔訳書〕 R．マッケンジー・G．タロック著『新経済学読本』（共訳者：鵜野公郎）　秀潤社

1979年（昭和54年）

「転機に立つ国債問題」（座談会）　三田評論　794号　7月

1980年（昭和55年）

「八〇年代の暮らしと政府の役割」（座談会）　ファイナンス　15巻10号　1月

「貫かれた財政再建初年度への意思―福祉見直しの提起に重要な意義―（55年度予算案を論評する）」　金融財政事情　31巻2号　1月14日

「財政再建と福祉」　社会保障年鑑

「米価決定と財政再建」　信濃毎日新聞　8月5日

「経済計画二つの疑問」　ＥＳＰ　102号　10月

1981年（昭和56年）

『経済学』（共編著者：富田重夫）　慶應通信

「福祉と財政（講演要旨）」　経済人　35巻6号　6月

「財政再建への道早まる―給与所得減税に伴う間接税導入で不公平是正を―」　金融財政事情　32巻3号　1月19日

1982年（昭和57年）

「フィスカル・ポリシーの有効性」　税経通信　37巻2号　2月

「高齢化社会と活力ある経済」　租税研究　395号　9月

「歳入欠陥と財政」　経済論壇　10月

「貯蓄優遇税制とグリーンカード」　経済論壇　11月

「円安と財政再建」　経済論壇　12月

1983年（昭和58年）

「税における効率原則の見直し」　旬刊国税解説速報　23巻　1月8日

「成長力論争について」　経済論壇　1月

「農政と農業政策」　経済論壇　2月

「これからの福祉社会と資産性所得（主として利子所得）の課税のあり方について」（シンポジウム）　租税研究　400号　2月

「漱石の経済学」　経済論壇　3月

「ケインズ経済学とマクロ経済学」　三田学会雑誌　76巻4号

〔編書〕 理論経済学（共編著者：伊達邦春）　青林書院新社

1984年（昭和59年）

「ＩＳ-ＬＭパラダイム：ケインズ経済学とマクロ経済学（その2）」　三田学会雑誌　77巻1号　4月

「ケインズと社会会計」　三田学会雑誌　77巻1号　4月

「資産のアグリゲーション問題：ケインズ経済学とマクロ経済学（その3）」　三田学会雑誌　77巻3号　8月

〔編書〕『福祉社会への選択』（共編者：地主重美）　勁草書房

1987年（昭和62年）

『フィスカル・ポリシーの三十年』　勁草書房

〔付記〕 この目録は，大熊一郎先生の講演，対談，座談会を含む経済学関係の広義の著作活動の全貌を明らかにすることを目標として作成されたが，新聞原稿その他，現在時点で確認できないものが残っており，多くの遺漏があるものと怖れる。経済学関係のものに限定したために『おしゃべり』（創文社，1986）他の随筆類は除かれている。

（長名寛明）